

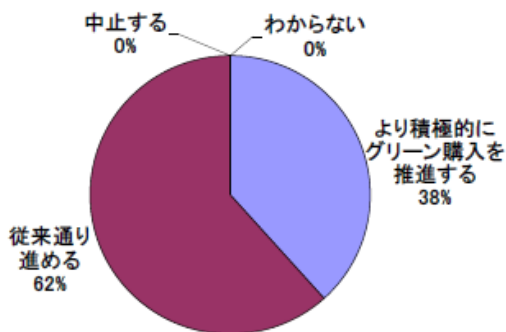
第2回 印刷物の環境配慮についての意識調査

2008年9月5日

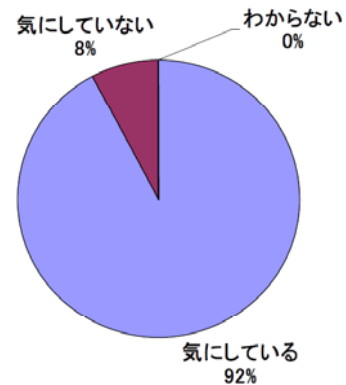
エコ印刷研究会事務局

再生紙ラインナップの変更（古紙パルプ高配合率再生紙の生産停止）や再生紙偽装問題は、印刷物など紙製品のグリーン購入、環境対策に大きな影響を与えたと考えられます。こうした問題が印刷発注企業における環境意識にどのような変化をもたらしたのかを調査するため、FAXおよび電子メールでアンケートを配布、回答を得た26件について集計を行いました（2008年8月末）

1. 印刷のグリーン購入に変化はありますか？



2. 印刷用紙について配慮していますか？



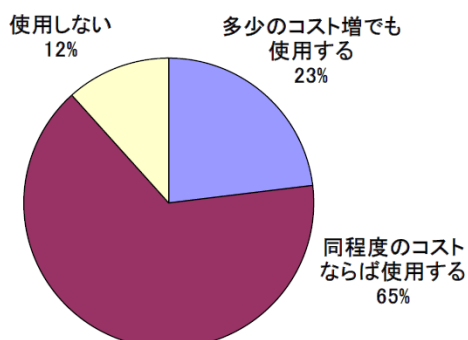
3. どのような配慮を行っていますか？ [複数選択]

再生紙の使用	62%
持続可能な森林からの調達	77%
違法伐採をしていない	50%
天然林の伐採をしていない	23%

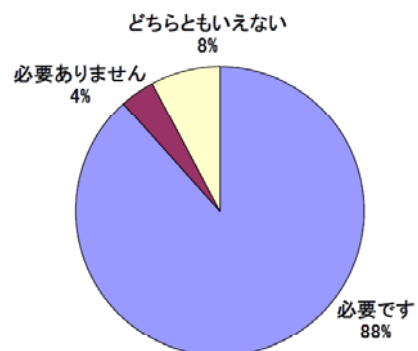
4. 今後採用したい印刷用紙は？ [複数選択]

古紙パルプ配合率100%再生紙	15%
古紙パルプ配合率70%再生紙	15%
再生紙（古紙配合率不問）	62%
森林認証紙	88%
植林木紙	12%
合法性の確認された用紙	38%
間伐材紙	31%
非木材紙	8%

5. 100%再生紙・70%再生紙は必要ですか？



6. 古紙リサイクルの取り組みは必要ですか？



エコ印刷研究会